Google アナリティクス 4



and,a株式会社 更新版:2022年04月19日

and,a 2022年

このセミナーを録画させて頂き、アーカイブ化させていただくことについて

■セミナーの録画について■ このオンラインセミナーは、弊社にて録画して、 アーカイブとしてネットで公開させていただきます。 ご参加の皆様のお名前は、画面に表示されないように、下記のキャプチャーのように、 アーカイブを作成させていただきます。

<u>ユーザー様側の操作によって、右サイドにお名前が出てしまう現象が確認されておりま</u> <u>すが、操作内容が特定できておりません。お名前が出てしまった場合は、アーカイブ公</u> 開前にモザイクでお名前を隠させていただきます。

※もし、ご質問をいただく場合は、音声は記録されてしまうため、固有名詞、企業名、企業秘密などは発言しないようお願いいたします

	_
測定 ID」の確認のために、GA4に戻って、データストリームへ。	
← → C Q A https://www.fc.google.com/unwly/ci/web/fuethuse=24/213702255p230	
▼ペC お気に入り 都田 Q 前田 ブラットフォームホームにアクセス	
アナリティクスアカウント プロパティとアプリ	
enternans recentor rece	
УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УУ-ЛУХ УУ-УХ-УУ-Л УУ-УУ-ЛУХ УУ-УХ-УУ-Л УУ-УУ-ЛУХ УУ-УХ-УУ-Л УУ-УУ-ЛУХ УУ-УХ-УУ-Л УУ-УХ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-Л УУ-УУ-Л УУ-УУ-Л <tr< th=""><th></th></tr<>	

16 0 57 低評価 🖒 共有 三十 保存 💀

25回視聴・2022/03/0

セミナーテキストのダウンロード

本セミナーのテキストは登録なしでダウンロードしていただくことができます。 テキストはセミナー後も必要に応じて可能な限り更新してまいります。



セミナーについてのご質問

ZOOMにはチャット機能がございますが、<mark>セミナーの時間が30分</mark>のため、 <mark>大変申し訳ございませんが、セミナー中にチャットでご質問を頂戴しても、</mark> <mark>セミナー中にご回答させていただくことができません</mark>。

弊社ではGA4の導入、設定、活用などに関して、質問、相談ができる 「GA4専用無料コミュニティ」 を開設しております。

こちらで当セミナーの講師がご回答させていただきます。 <mark>下記のリンクから、全て無料でご利用いただくことができます。</mark> <u>https://discord.gg/TWzZ75nAHe</u>



コミュニティは、 当セミナーの主催者 and,a株式会社が運営 しており、どなたでも無 料でご参加いただき、 質問を書き込んで頂く ことができます。

eコマース設定をしておくと、どんなことが分かるか(1)

レポート>ライフサイクル>収益化>eコマース購入数 赤線の枠の表について解説します。

	アナリティクス GA4 - Google Merchandise 、 Q 「行動サマリー」と検索してみてください	 Ø : 🤮
 ■ ■	e コマース購入数: アイテム名 ② マ ③ すへてのユーザー (出版を追加 +)	過左 28 日間 3月11日~2022年4月7日 ▼ 1 1 4 2022年4月7日 ▼
R	表示後カートに追加された商品の割合の推移:アイテム名別	表示後カートに追加された商品の割合 とカートに追加: アイテム名別
≡	1,500%	200 カートに追加 ● Google Cloud Sticker 150
	500%	100 Google Sea Glass Bottle
	13 3月 20 27 4月 0% 0%	Google Black Cloud Polo
	● Google Sea Glass Bottle ● Google Pen Lilac ● Google Pride Sticker ● Google Laptop and Cell Phone Stickers ● Google Sticker	表示後カートに追加された商品の射合 1 ページあたりの行数 10 ▼ 移動 1 < 1~10/480 >
		加された商 e コマース購入数 表示後購入された商品の割合 商品の購入数量 アイテムの収益
	101,139 21,986 全計 全体の100% 全体の100%	27.61% 1,823 6.01% 15,168 \$198,435.78 平均との差 0% 全体の 100% 平均との差 0% 全体の 100% 全体の 100%
	1 Google Sea Glass Bottle 25 67	290.91% 19 86.36% 22 \$496.80
	2 Google F/C Longsleeve Ash 2 6	250% 47 2,350% 64 \$1,584.00
	3 Google Black Cloud Polo 2 6	200% 80 3,750% 157 \$6,163.20
4	Google F/C Longsleeve Charcoal 6 5	133.33% 54 1,800% 74 \$1,866.00

eコマース設定をしておくと、どんなことが分かるか(2)

No.	項目	意味
(1)	アイテムの表示回数	アイテムの詳細が表示された回数。
(2)	カートに追加	ユーザーがショッピングカートにアイテムを追加した回数。
(3)	表示後にカートに追加された商品の割 合	カートに商品を追加したユーザー数を、同じ商品を表示したユーザー数で割った値。
(4)	eコマース購入数	ユーザーが購入手続きを完了した回数。
(5)	表示後購入された商品の割合	商品を購入したユーザーの数を、同じ商品を表示したユーザー数で割った値。
(6)	商品の購入数量	購入イベントに含まれる一つのアイテムの数量。
(7)	アイテムの収益	アイテム毎の合計収益(税金と配送料を除く)

_{へ 検索…} データはGoogleのGA4デ ^ー	Eアカウント				1ページあたりの行数:	▼移動:1	< 1~10/480 >
アイテム名▼ +	アイテムの表示回数 (1) 101,139 全体の100%	◆カートに追加 (2) 21,986 全体の100%	表示後カートに追加 (3) 27.61% 平均との差 0%	e コマース購入数 (4) 1,823 全体の 100%	表示後購入された商 (5) 6.01% 平均との差 0%	商品の購入数量 (6) 15,168 全体の100%	アイテムの収益 (7:1)-8,435.78 全体の 100%
1 Chrome Dino Collectible Figurines	6,642	718	14.16%	68	1.45%	72	\$2,064.00
2 Chrome Dino Dark Mode Collectible	4,400	694	20.82%	1	0.03%	1	\$24.00
3 For Everyone Google Tee	3,576	632	18.06%	100	3.5%	118	\$3,161.60
4 Google Eco Tee Black	1,339	555	47.63%	0	0%	0	\$0.00
5 Google Onyx Water Bottle	1,093	330	33.74%	64	6.94%	179	\$3,508.80
6 Google Bike Ultralight Sweatshirt	1,032	272	28.84%	46	6.67%	59	\$2,575.80
7 Google Two-tone Jade Mug	804	259	35.39%	53	8.06%	96	\$1,267.20
8 Chrome Dino Marine Layer Tee	1,187	256	23.97%	54	5.72%	66	\$2,520.00
9 Super G Washed Cap	651	237	42.92%	85	17.5%	171	\$2,588.40
10 Google Tonal Sweatshirt Stone Gray	739	234	35.45%	77	14.34%	86	\$3,905.00

eコマース設定をしておくと、どんなことが分かるか(3)

 Θ

R

Ħ

たとえば「リンク先ページ(英語名:Landing Page)」の列を追加すると、入口ページ毎に、アイ テムの販売状況を把握することができます。



eコマース設定をしておくと、どんなことが分かるか(4)







本日の内容=eコマースに関わる9つのイベント

e=	コマースに関わる9つのイ	ベント	第3回テキス	スト 再掲載
No.	ユーザーの行動	イベント名	推奨イベント:オン	ライン販売
1	商品リスト/アイテムリストの表	view_item_list	公式ヘルプ: <u>https://support.google.com/analytics/answer/9267735?hl</u>	
	小回数とインノレッション		イベント	トリガーのタイミング:
			add_payment_info	ユーザーが支払い情報を送信したとき
2	商品 / アイテムリストのクリック	select_item	add_shipping_info	ユーザーが配送情報を送信したとき
			add_to_cart	ユーザーがカートに商品を追加したとき
3	商品 / アイテムの詳細表示回数	view_item	add_to_wishlist	ユーザーがほしいものリストに商品を追加したとき
			begin_checkout	ユーザーが購入手続きを開始したとき
4	カートからの追加	add_to_cart	generate_lead	ユーザーが問い合わせフォームまたはリクエストを送 信したとき
	カートからの削除	remove_from_cart	purchase	ユーザーが購入を完了したとき
5	プロモーションの表示回数とイン	view promotion	<u>refund</u>	払い戻しが行われたとき
	プレッション	nen_promotion	remove from cart	ユーザーがカートから商品を削除したとき
C			select_item	ユーザーがリストから商品を選択したとき
6	フロモーションのクリック	select_promotion	select_promotion	ユーザーがプロモーションを選択したとき
7	決済	begin_checkout	<u>view_cart</u>	ユーザーがカートを表示したとき
8	購入	purchase	<u>view_item</u>	ユーザーが商品を表示したとき
-		Parenace	<u>view_item_list</u>	ユーザーが商品やサービスの一覧を表示したとき
9	払い戻し	refund	view promotion	ユーザーにプロモーションが表示されたとき

※はじめに、第3回で取り上げたイベント「purchase」の設定を振り返ります。

購入 purchase (第3回テキスト 再掲載)

第3回テキスト 再掲載

推奨イベント 設定例 purchase

ここでは、<mark>当セミナーのサイトのセミナー登録完了ページを購入完了ページ見立てて</mark>、下記 のような構成で、推奨イベント、purchaseを設定してみます。 データレイヤーに書き込まれた情報を、GTMで取得して、GA4に送信します。



「どうしてもデータレイヤーが必要なのか?」については、弊社GA4サイトの解説記事も ご参照ください。 https://ga4-quick.and-aaa.com/archives/886

推奨イベント 設定例 purchase

第3回テキスト 再掲載

purchaseのdataLayerの	下記が購入完了ページだった場合、データレイヤーに適切な値が出 カされるようにするには、システム開発が必要です。
書き万	<script></td></tr><tr><th>公式ヘルプ: https://developers.google.com/t ag-manager/enhanced- ecommerce?hl=ja (例)セミナー4回目の申し込み 完了を、購入完了に見立てて、 purchaseの dataLayerを書いている。</th><th>window.dataLayer = window.dataLayer []; dataLayer.push({ event: "purchase", ecommerce: { transaction_id: "100-02", //トランザクションID affiliation: "GA4 Quick", //どこで販売されたか value: 10000, //売上の合計金額 tax: 1000, //税 shipping: 500, //送料 currency: "JPY", //通貨 coupon: "2022_SPRING_SEMINAR", //クーポン items: [{ item_name: "2022_SPRING_SEMINAR_04", //商品名 item_id: "22ss04", //商品D price: 10000, //商品単価</th></tr><tr><th>「このテキストのdataLayerはGA4用のもの となっております。既にUAで拡張eコマー スなど利用していてdataLayerが存在する 場合、後述のGTMでの変数設定方法が 変更となります。dataLayer側の記述を GA4用に書き直すか、あるいは、andaに ご相談ください」</th><th>item_brand: "and,a", //商品ブランド item_category: "Online_Seminar", //商品カテゴリー item_variant: "ZOOM", //商品バリエーション quantity: 1 }] }); </script>

前ページで見た、 <mark>window.dataLayer = window.dataLayer || [];</mark> について解説します。 <script> window.dataLayer = window.dataLayer || []; dataLayer.push({ event: "purchase", ecommerce: { (以下省略)

dataLayerはJavaScriptで「配列」と呼ばれるものになります。 「配列」は中にいろいろな要素をリスト形式で保有することができるもので、 そして「配列」はその要素を追加・削除・検索など行うことが可能です。

dataLayerは「継ぎ足し継ぎ足ししていく」のが本来的な使い方です。

<mark>window.dataLayer = window.dataLayer || [];</mark> は、「dataLayerという名前で配列を新規作成する」というものになります。 GTMはページ上にdataLayerという配列が存在したらそちらを利用する形です。 (存在しない場合はGTMが勝手に作成します)

そして、<mark>dataLayer.push()というのは上で触れた「配列に要素を追加する」もの</mark>となり、 <mark>()の中身をdataLayerに追加する</mark>、という文法になっています。 これによって、「作成した配列に対してpurchase用のデータを追加する」形になります。





データレイヤー変数の追加

 	すべてのアカウント > ga4-quick.and-aaa.com ga4-quick.and-aaa.com マ	Q 検索ワークスペース	
ワークスペース バージョン	管理		
現在のワークスペース Default Workspace >	組み込み変数 ③		Q. 設定
	名前 个	タイプ	
	Click URL	データレイヤーの変数	
タグ	Event	カスタム イベント	
トリガー	Page Hostname	URL	
■ 変数	Page Path	URL	
フォルダ	Page URL	URL	
D テンプレート	Referrer	HTTP 参照	
	ユーザー定義変数 このコンテナにはユーザー定	義変数がありません。[新規] をクリックして作成してください。	新規

推奨イベント 設定例 purchase GTMのデータレイヤー変数

データレイヤー変数の追加

「変数タイプを選択」で「データレイヤーの変数」を選択。

× 無題の変数 ロ		× 変数タイプを選択 Q
	変数の設定	□ コミュニティテンプレートギャラリーで変数タイプをさらに見つけましょう >
	変数の設定 変数タイプを選択して設定を開始 詳細	ナビグーション ・HTTP 参照 この値は、HTTP 参照 この値は、AND AND AND AND AND AND AND AND AND AND
		 ◆ 自動イベント変数 要素の視認性
		 この値は、指定された DOM 要素の視惑性に基づいて設定されます。 ユーティリティ Google アナリティクス設定 この変数では、複数の Google アナリティクスタグに適用する Google アナリティクス設定を指 定できます。

推奨イベント 設定例 purchase GTMのデータレイヤー変数

下記はデータレイヤー変数「ecommerce.transaction_id」の設定例です。 他の変数も同様に設定していきます。

	<script></th></tr><tr><th>× ecommerce.transaction id</th><th>window.dataLayer = window.dataLayer [];</th></tr><tr><th></th><th>dataLayer.push({</th></tr><tr><th></th><th>event: "purchase",</th></tr><tr><th>変数の設定</th><th>ecommerce: {</th></tr><tr><th></th><th>transaction id: "100-02", //トランザクションID</th></tr><tr><th>空気のタイプ</th><th>affiliation: "GA4 Quick",</th></tr><tr><th>データレイヤーの変数</th><th>value: 10000,</th></tr><tr><th></th><th>tax: 1000,</th></tr><tr><th>データレイヤーの変数名 ⑦</th><th>shipping: 500,</th></tr><tr><th>ecommerce.transaction_id</th><th>currency: "JPY",</th></tr><tr><th></th><th>coupon: "2022_SPRING_SEMINAR",</th></tr><tr><th></th><th>items: [{</th></tr><tr><th></th><th>item_name: "2022_SPRING_SEMINAR_04",</th></tr><tr><th>□ デフォル」値を設定</th><th>item_id: "22ss04",</th></tr><tr><th></th><th>price: 10000,</th></tr><tr><th>> 値の形式 ⑦</th><th>item_brand: "and,a",</th></tr><tr><th></th><th>item_category: "Online_Seminar",</th></tr><tr><th></th><th>item_variant: "ZOOM",</th></tr><tr><th></th><th>quantity: 1</th></tr><tr><th>ecommerce.transaction_id と記述していより。</th><th>}]</th></tr><tr><th></th><th>}</th></tr><tr><th></th><th>});</th></tr><tr><th></th><th></script>
--	---

商品アイテム (items)の パラメータ名	説明
item_id	商品アイテム ID(SKU)
item_name	商品アイテム名
quantity	アイテムの数量
item_brand	商品アイテムのブランド
item_category	商品アイテム カテゴリ
item_category2	商品アイテムに多数のカテゴリがある場合に利用します。
item_category3	商品アイテムに多数のカテゴリがある場合に利用します。
item_category4	商品アイテムに多数のカテゴリがある場合に利用します。
item_category5	商品アイテムに多数のカテゴリがある場合に利用します。
item_variant	商品アイテムのバリエーション
price	指定された通貨パラメータの単位で表した商品アイテムの価格
currency	通貨(3 文字の ISO 4217 形式)
tax	取引に関連付けられた税金
affiliation	仕入れ先業者や実店舗を指定する商品アフィリエーション
coupon	購入に使用されたクーポンコード
discount	購入に関連付けられた割引の金銭的価値

推奨イベント 設定例 purchase GTMのデータレイヤー変数 第3回テキスト 再掲載

「ecommerce.transaction_id」と同じ方法で、 イベント「purchase」で使用するデータレイヤー変数を一通り追加しました。

ワークスペ	ペース バージョン	管理		
現在のワーク Default We	7スペース orkspace ➤	組み込み変数 ③		Q 設定
		名前 ↑	タイプ	
२ 世 🚍	'U–	Click URL	データレイヤーの変数	
 タグ 	i	Event	カスタム イベント	
(ا	ガー	Page Hostname	URL	
2 変数	Į.	Page Path	URL	
し フォ	ルダ	Page URL	URL	
ecommerce.affiliation	on	Referrer	HTTP 参照	
ecommerce.coupon	$\overline{\setminus}$	ユーザー定義変数		O 新相
				AT INT
ecommerce.currenc	v		タイプ	最終更新日
ecommerce.currenc	y	名前 ↑ ecommerce.affiliation	_{タイプ} データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前
ecommerce.currence	y /	名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon	_{タイプ} データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前
ecommerce.currence ecommerce.items	y b	 名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon ecommerce.currency 	タイプ データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前
ecommerce.currence ecommerce.items ecommerce.shipping	y g	 名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon ecommerce.currency ecommerce.items 	タイプ データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前 12分前
ecommerce.items ecommerce.shipping ecommerce.tax	y B	 名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon ecommerce.currency ecommerce.items ecommerce.shipping 	タイプ データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前 2時間前 12分前 2時間前
ecommerce.tems ecommerce.shipping ecommerce.tax	y g tion_id	 名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon ecommerce.currency ecommerce.items ecommerce.shipping ecommerce.tax 	タイプ データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前 2時間前 12分前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前
ecommerce.items ecommerce.shipping ecommerce.tax ecommerce.tax	y g tion_id	 名前 ↑ ecommerce.affiliation ecommerce.coupon ecommerce.currency ecommerce.items ecommerce.shipping ecommerce.tax ecommerce.transaction_id 	タイブ データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数 データレイヤーの変数	最終更新日 2時間前 2時間前 2時間前 12分前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前 2時間前

推奨イベント 設定例 purchase GTMのデータレイヤー変数 第3回テキスト 再掲載

dataLayerを購入完了ページに相当するページに実装します。ここでは、セミナー申込完了 を商品の購入完了に見立てて記述してあります。

(今回下記のdataLayerを実装したGA4のセミナーページ:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ga4_seminar_thanks/ga4_thanks20220324.html)



推奨イベント 設定例 purchase GTMでイベント設定 トリガー第3回テキスト 再掲載

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× purchase		
	トリガーの設定	
	トリガーのタイプ	
	カスタムイベント	
	イベント名 purchase 正規表現一致を使用	
	このトリガーの発生場所	
	このトリガーへの参照	
	purchase タウ	

第3回テキスト 再掲載

推奨イベント 設定例 purchase GTMでイベント設定

イベント「purchase」のために、タグを新規で一つ作ります。設定は下記の通りです。

🖌 🗡 purchase 🗖 🗲			イベント「purchase」	のた	めに
	タグの設定		タクを新規で一つ作	りま	ज 。
	タグの種類				
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングプラットフォーム				<u> </u>
イベント名 : purchase	設定タグ ⑦ ga4-quick.and-aaa.com	「設え 測し ⁻	ミタグ」とは既にGA4を ているタグ。	計	
	purchase				
	✓ イベント パラメータ パラメータ名		値		
イベント名 : purchase	transaction_id		{{ecommerce.transaction_id}}		Θ
用に作成したデータレ	affiliation		{{ecommerce.affiliation}}		Θ
イヤー変数で、パラ	value		{{ecommerce.value}}		Θ
メータを追加する。	tax		{{ecommerce.tax}}		Θ
	shipping		{{ecommerce.shipping}}		Θ
	currency		{{ecommerce.currency}}		Θ
	coupon		{{ecommerce.coupon}}		Θ
	items		{{ecommerce.items}}		Θ

第3回テキスト 再掲載

推奨イベント 設定例 purchase GTMでイベント設定

ライフサイクル>収益化>eコマース購入数 どのアイテムが幾つ売れたかがレポートで確認できます。

	アナリティクス ga4-qu	ウント > and,a株式会社(App+W ck.and-aaa.com - G Q	「目標到達プロセスの作成)	方法」と検索してみ	てください				:: 0 : 😩	
A	レポートのスナップショット	e コマース購入数: アイテム名 🔘 🔹 🜗					過去 28 日間 3月4日~2022年3月31日 ▼ 🕅 🧠 🎲 🧷			
	ユーザー へ ・ ユーザー属性	06 13 3月 ● 2022_SPRING_SEMINAR_07 ● 2022_SPRIN	20 G_SEMINAR_08 • 2022_SPRING_SE	27 MINAR_06 • 2022_SPRIN	NG_SEMINAR	_SPRING_SEMIN20820SPRIN 0 0 アイテムの表示回数	IG_SEMINAP2022_SPRING_SEMIN	IAR_08 2022_SPRING_ 1,500 2,	SEMINAR_07	
R	・ テクノロジー	Q. 検索						1 ページあたりの行数: <mark>25</mark>	▼ 1~13/13	
	 ライフサイクル へ 集客 エンゲージメント 	アイテム名 * - 合計	◆アイテムの表示回数 3,349 全体の 100%	カートに追加 0	表示後カートに追加さ 0%	e コマース購入数 100 全体の 100%	表示後購入された商品 4.95% 平均との差 0%	商品の購入数量 100 全体の 100%	アイテムの収益 ¥1,000,294 全体の100%	
	▼ 収益化	1 2022_SPRING_SEMINAR_07	1,971	0	0%	4	0.87%	4	¥39,912	
	収益化の概要	2 2022_SPRING_SEMINAR_08	748	0	0%	10	4.4%	10	¥100,088	
	e コマース購入数	3 2022_SPRING_SEMINAR_06	552	0	0%	10	7.92%	10	¥100,069	
	アプリ内購入	4 2022_SPRING_SEMINAR_05	64	0	0%	12	125%	12	¥120,116	
	パブリッシャー広告	5 Donut Friday Scented T-Shirt	14	0	0%	0	0%	0	¥O	
	維持率	6 2022_SPRING_SEMINAR_04	0	0	0%	18	0%	18	¥180,247	
		7 2022_SPRING_SEMINAR_09	0	0	0%	7	0%	7	¥69,980	
		8 2022_SPRING_SEMINAR_10	0	0	0%	6	0%	6	¥60,060	
		9 2022_SPRING_SEMINAR_11	0	0	0%	7	0%	7	¥69,972	
		10 2022_SPRING_SEMINAR_12	0	0	0%	7	0%	7	¥69,972	
		11 2022_SPRING_SEMINAR_13	0	0	0%	/	0%	/	¥69,972	
		12 2022_SPRING_SEMINAR_14	0	0	0%	7	0%	7	¥69,962	
	D ライブラリ	13 ZUZZ_SPRING_SEMINAR_15	0	0	0%	5	0%	5	¥49,943	

「eコマース(GA4)デベロッパー ガイド」 9つのイベントでストーリを見る

「 e コマース(GA4)デベロッパー ガイド」9つのイベントでストーリを見る

「eコマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ:

<u>https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja</u>) 公式ヘルプの一覧表だと、「買い物の流れ」をイメージしにくいかも知れません。 次ページ以降で「買い物の流れ」の例を見て、その順番に、Eコマースのイベントの 設定例を見ていきます。

No.	ユーザーの行動	イベント名	
1	商品リスト / アイテムリストの表示回数とインプレッション	view_item_list	
2	商品 / アイテムリストのクリック	select_item	
3	商品 / アイテムの詳細表示回数	view_item	
Л	カートへの追加	add_to_cart	
4	カートからの削除	remove_from_cart	
5	プロモーションの表示回数とインプレッション	view_promotion	
6	プロモーションのクリック	select_promotion	
7	決済	begin_checkout	
8	購入	purchase	
9	払い戻し	refund	

ECに関わるイベントの流れの例(1)



ECに関わるイベントの流れの例(2)



ECに関わるイベントの流れの例(3)



(1) view_promotion

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/view_promotion.html

(1) view_promotion - dataLayer

```
// Measure promotion views. This example assumes that information about the
// promotions displayed is available when the page loads.
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object.
dataLayer.push({
 event: "view promotion",
 ecommerce: {
 items: [{
                                                                                     view promotion
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt", // Name or ID is required.
                                                                                     プロモーション
   item id: "67890",
   price: 33.75,
                                                                                     サイト内
   item brand: "Google",
                                                                                     バナー表示
   item category: "Apparel",
   item category2: "Mens",
                                         データレイヤーに適切な値
                                                                                                         サイト内
   item category3: "Shirts",
                                         が出力されるようにするに
                                                                                                         バナ
   item category4: "Tshirts",
                                         は、システム開発が必要で
                                                                                                            覧
   item variant: "Black",
                                         す。
   promotion id: "abc123",
   promotion name: "summer promo",
  creative name: "instore suummer",
  creative slot: "1",
   location id: "hero banner",
  index: 1,
  quantity: 1
 }]
});
```

https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(1) view_promotion - GTMのトリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× view_promotion	
	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	イベント名
	view_promotion 正規表現一致を使用
	このトリガーの発生場所
	● すべてのカスタムイベント ○ 一部のカスタムイベント
	このトリガーへの参照
	view_promotion

(1) view_promotion - GTMのタグ

× view_promotion 🗅]
	タグの設定
	タグの種類 Google アナリティクス: GA4 イベント
	Google マーケティングブラットフォーム 設定タグ ⑦
	ga4-quick.and-aaa.com - イベント名 ②
	view_promotion
	 マ イベントバラメータ パラメータ名 items 値 {{ecommerce.items}} 価
	行を追加
	 ユーザープロパティ **細い字
	・ ^{p+quis} XAE トリガー
	配信トリガー view promotion

(2) select_promotion

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/select_promotion.html

(2) select_promotion - dataLayer

});

```
/**
* Call this function when a user clicks on a promotion.
* @param {Object} promoObj An object that represents an internal site
promotion.
*/
function onPromoClick(promoObj) {
dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object.
                                                                      select_promotion
dataLayer.push({
 event: "select promotion",
                                                                      プロモーション
                                                         サイト内
 ecommerce: {
                                                                      サイト内
  items: [{
                                                         バナーを
   item name: promoObj.name, // Name or ID is required.
                                                         選んでク
                                                                      バナー選択
   item id: promoObj.id,
                                                          リック
   item brand: promoObj.brand,
   item category: promoObj.category,
   item category2: productObj.category 2,
   item category3: productObj.category 3,
                                          公式ヘルプに掲載されているコードサンプルはdataLayerというよ
   item category4: productObj.category 4,
                                          り関数になっています。
   item variant: promoObj.variant,
                                          このため、GTMでクリックイベントを作成しただけでは上手く取得
   promotion id: promoObj.pid,
   promotion name: promoObj.pname,
                                          できないので以下のどれかの対策が必要です。
   creative name: promoObj.pcreative name,
                                         (1) 対象の要素をクリックした時にこの関数が発火するようにする
   creative slot: promoObj.pcreative slot,
                                          (2) コードサンプルを関数ではない、通常のdataLayerに直す
   location id: promoObj.plocation,
                                         (3) サイトによって構成が違うため、エンジニア様に相談する
   index: promoObj.index,
                                          今回は、「(1) 対象の要素をクリックした時にこの関数が発火する
   quantity: promoObj.quantity,
                                          ようにする」の例を記述します。
   price: promoObj.price
  }]
```

「 e コマース(GA4) デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ: https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(2) select_promotion - dataLayer



<mark>select_promotion</mark>の運用例をご紹介します。ここでは、「dataLayerを発火 させる関数」と「リンク要素」で運用します。


(2) select_promotion - dataLayer



こちらの関数は、ページ上のどこかに一回だけ記述します。「リンク要素」 (次ページ)のdata-****(次ページに掲載)を抽出し、それをdataLayerの 形式に組み立てて、組み立て後にdataLayerを発火させる関数です。

```
<script>
function onPromotionClick() {
```

dataLayerを発火させる関数

```
var dataset = JSON.parse(JSON.stringify(this.dataset));
var item = Object.getOwnPropertyNames(dataset).reduce(function(prev, current) {
  var key = current.replace(/[A-Z]/g, function(char){ return '_' + char.toLowerCase();});
  prev[key] = /price|index|quantity/.test(key) ? Number(dataset[current]) :
  dataset[current];
  return prev
  }, {});
  window.dataLayer = window.dataLayer || [];
  dataLayer.push({ ecommerce: null });
  dataLayer.push({
    event: "select_promotion",
    ecommerce: {
```

```
items: [ item ]
```

} });

```
</script>
```

(2) select_promotion - dataLayer



しこちらはリンク要素です。このリンクがクリックされた時に、前ページで見た 関数に、data-の値が渡されます。

リンク要素

(2) select_promotion - HTMLソースとGTMのトリガー



<a class="T-Shirt_Promotion" href="view_item_list.html" data-item-name="Donut Friday Scented T-Shirt" data-item-id="67890" data-price="33.75" (以下、省略)

\times select_promotion			
	トリガーの設定		
	トリガーのタイプ	トリガーのタイプは、	
	🥔 クリック・リンクのみ	「クリック-リンクのみ」を	
	□ タグの配信を待つ ⑦	使用しています。	
	□ 妥当性をチェック ⑦		
	○ すべてのリンククリック ○ 一部のリンククリ	リック	
	イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリ Click Classes マ 等しい	リガーを配信します ▼ T-Shirt_Promotion	- +
	このトリガーへの参照		
	select_promotion タグ		

(2) select_promotion - GTMのタグ

× select_promotion	
	タグの設定
	タグの種類 Google アナリティクス: GA4 イベント
	・ Google マーケティングブラットフォーム
	ga4-quick.and-aaa.com
	select_promotion ₩
	 ✓ イベントパラメータ パラメータ名 値
	items 🔛 {(ecommerce.items}} 🛱 Θ
	 ユーザー ノロハティ 詳細設定
	トリガー
	配信トリガー
	ジェンクのみ

(3) view_item_list

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/view_item_list.html

(3) view_item_list - dataLayer

});



(3) view_item_list - GTMのトリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× view_item_list 🗅	
-	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	・ ・
	イベント名
	view_item_list
	このトリガーの発生場所
	 ● すべてのカスタムイベント ○ 一部のカスタムイベント
	このトリガーへの参照
	view_item_list
	• 90

(3) view_item_list - GTMのタグ

\times	view	item	list	

タグの設定
タグの種類
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
設定タグ ③
guy quick and ducion イベント名 ③
view_item_list
▼ イベントパラメータ
items ({ecommerce.items})
バラメーダ名 恒 items 価 行を追加
バラメーダ名 値 items 弾 ({ecommerce.items}) 単 ○ 行を追加 > ユーザープロパティ
バラメーダ名 他 items 他 {{ecommerce.items}} 行を追加 > ユーザープロパティ > 詳細設定
パラメーダ名 で items ({ecommerce.items}) 行を追加 > ユーザープロパティ > 詳細設定
パラメーダ名 ({ecommerce.items}) (() items (() () 行を追加 () () > ユーザーブロパティ () () > 詳細設定 () () トリガー () () 配信トリガー () ()
パラメーダ名 個 items ({ecommerce.items}) 行を追加 〇 クを追加 〇 シ ユーザープロパティ > > 詳細設定 〇 トリガー R信トリガー 配像トリガー 〇 ジ view_item_list カスタムイペント ●

(4) select_item

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/select_item.html

(4) select_item - dataLayer

公式ヘルプに掲載されているコードサンプル

/**

- * Call this function when a user clicks on a product link.
- * @param {Object} productObj An object that represents the product that is clicked.

*/

function onProductClick(productObj) {

dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object.

dataLayer.push({

event: "select_item",

ecommerce: {

items: [{

item_name: productObj.name, // Name or ID is required.

item_id: productObj.id,

item_brand: productObj.brand,

item_category: productObj.category,

item_category2: productObj.category_2,

item_category3: productObj.category_3,

item_category4: productObj.category_4, item variant: productObj.variant,

item list name: productObj.list name,

item_list_id: productObj.list_id,

index: productObj.index, quantity: productObj.guantity,

price: productObj.price

}]

});



公式ヘルプに掲載されているコードサンプルはdataLayerというより関数になっています。 このため、GTMでクリックイベントを作成しただけでは上手く取得できないので以下のどれかの対策が必要です。 (1)対象の要素をクリックした時にこの関数が発火するようにする (2)コードサンプルを関数ではない、通常のdataLayerに直す (3)サイトによって構成が違うため、エンジニア様に相談する 今回は、「(1)対象の要素をクリックした時にこの関数が発火する ようにする」の例を記述します。

「eコマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ:

https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(4) <mark>select_item</mark> – dataLayer



<mark>select_item</mark>の運用例をご紹介します。ここでは、「dataLayerを発火 させる関数」と「リンク要素」で運用します。



(4) select_item – dataLayer



こちらの関数は、ページ上のどこかに一回だけ記述します。 リンク要素のdata-*****(次ページに掲載)を抽出し、それをdataLayerの形 式に組み立てて、組み立て後にdataLayerを発火させる関数です。

```
<script>
function onProductClick() {
```

dataLayerを発火 させる関数

```
var dataset = JSON.parse(JSON.stringify(this.dataset));
```

```
var item = Object.getOwnPropertyNames(dataset).reduce(function(prev, current) {
    var key = current.replace(/[A-Z]/g, function(char){ return '_' + char.toLowerCase();});
    prev[key] = /price|index|quantity/.test(key) ? Number(dataset[current]) :
    dataset[current];
```

```
return prev
```

```
}, {});
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({
    event: "select_item",
    ecommerce: {
        items: [ item ]
      }
});
```

(4) <mark>select_item</mark> – dataLayer



こちらはリンク要素です。このリンクがクリックされる時に、前ページで見た 関数に、data-の値が渡されます。

リンク要素 Donut Friday Scanted T-Shirt

(4)<mark>select_item</mark> - HTMLソースとGTMのトリガー



<a class="productdetails" href="items/productdetails.html" data-item-name="Donut Friday Scented T-Shirt" (以下省略)

X select_item 🗖			
	トリガーの設定	トリガーのタイプは、	
	トリガーのタイプ	「クリック – リンクのみ」を	
	🥏 クリック・リンクのみ	使用しています。	1
	□ タグの配信を待つ ⑦		
	□ 妥当性をチェック ⑦		
	このトリガーの発生場所		
	○ すべてのリンククリック ○ 一部の	リリンククリック	
	イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合	合にこのトリガーを配信します	
	Click Classes 👻	等しい マ productdetails	+
	このトリガーへの参照		
	select_item		

(4)<mark>select_item</mark> - GTMのタグ

× select_item 🗅	
	タグの設定
	タグの種類 Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム
	設定タグ ⑦ ga4-quick.and-aaa.com 👻
	イベント名 ② select_item 単
	✓ イベントパラメータ パラメータ名 値
	items ({ecommerce.items})
	 ユーザープロパティ
	> 詳細設定
	トリガー 配信トリガー
	 select_item リンクのみ

(5) view_item

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/view_item.html

(5) view_item - dataLayer

```
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
// Measure a view of product details. This example assumes
the detail view occurs on pageload,
dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous
ecommerce object.
                                                              商品詳
dataLayer.push({
                                                             細を見る
 event: "view item",
 ecommerce: {
  items: [{
                                                                                view item
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt", // Name or ID
                                                                              商品詳細表示
is required.
   item id: "67890",
   price: 33.75,
   item brand: "Google",
   item category: "Apparel",
   item category2: "Mens",
                                                               データレイヤーに適切な値
   item category3: "Shirts",
                                                               が出力されるようにするに
   item category4: "Tshirts",
                                                               は、システム開発が必要で
   item variant: "Black",
                                                               す。
   item list name: "Search Results", // If associated with a
list selection.
   item list id: "SR123", // If associated with a list selection.
   index: 1, // If associated with a list selection.
   quantity: 1
  }]
                                              「eコマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ:
                                              https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ia )
});
```

(5)<mark>view_item</mark> - GTMのトリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

a × view_item 🗅	
	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	・ カスタムイベント
	イベント名
	view_item
	このトリガーの発生場所
	このトリガーへの参照
	view_item タウ

(5)<mark>view_item</mark> - GTMのタグ

× view_item 🗅	
	タグの設定
	Google ア リティッス: GA4 1ハント Google マーケティングブラットフォーム
	設定タグ ③ ga4-quick.and-aaa.com
	view_item
	✓ イベントパラメータ パラメータ名 値
	items ({ecommerce.items})
	行を追加
	> ユーザープロパティ
	> 詳細設定
	トリガー
	配信トリガー view_item カスタム イベント

(6)-(a) add_to_cart

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/add_to_cart.html

(6) - (a) add_to_cart - dataLayer



「 e コマース(GA4) デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ: https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(6) - (a) add_to_cart - HTMLソースとGTMのトリガー

HTML

<a <a Donut Friday Scented T-Shirtをカートに入れる。

× add_to_cart 🗖			
	トリガーの設定	トリガーのタイプは、 「クリック – リンクのみ 」を	
	トリガーのタイプ	使用しています。	
	🥏 クリック・リンクのみ		1
	🗌 タグの配信を待つ ⊘		
	🗌 妥当性をチェック 꼜		
	このトリガーの発生場所	一部のリンククリック	
	イベント発生時にこれらすべての条件が tr	ue の場合にこのトリガーを配信します	
	Click Classes	▼ 等しい ▼ add_to_cart	- +
	このトリガーへの参照		
	o add_to_cart タグ		

(6) – (a) add_to_cart – GTMタグ

タグの設定	
タグの種類	
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム	1
設定タグ ③	
ga4-quick.and-aaa.com 👻	
イベント名 ②	
add_to_cart	
✓ イベントバラメータ	
items	
行を追加	
> ユーザー プロパティ	
> 詳細設定	
トリガー	
配信トリガー	

(6)-(b) remove_from_cart

実際にアップしてあるテスト用ファイル: https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/remove_from_cart.html

(6) - (b) remove_from_cart - dataLayer



HTML	<a <mark="">class="remove_from_cart" href="c	art/cart2.html">Donut Friday Scented T-Shirtをカートか	ら削除。
remove_from_c	art 🗖		
	トリガーの設定	トリガーのタイプは	
	トリガーのタイプ	「クリック-リンクのみ」を	
	クリック - リンクのみ	使用しています。	/
	□ タグの配信を待つ ⑦		
	□ 妥当性をチェック ⑦		
	このトリガーの発生場所		
	0 34000000000000000	部のリンククリック	
	イベント発生時にこれらすべての条件が true o Click Classes	D場合にこのトリガーを配信します 含む ▼ remove from cart	- +
	このトリガーへの参照		
	remove from cart		
	90		

(6) – (b) <u>remove_from_cart</u> – GTMタグ

× remove_from_cart	
	タグの設定
	タグの種類 Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
	設定タグ ⑦ ga4-quick.and-aaa.com
	イベント名 ② remove_from_cart
	 ✓ イベントパラメータ パラメータ名 itema ({ecommerce.items}) (●
	行を追加
	> ユーザー プロパティ
	> 詳細設定
	マッカ 配信トリガー
	Image: organization of the second

(7) begin_checkout

実際にアップしてあるテスト用ファイル: <u>https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/begin_checkout.html</u>

(7) **begin_checkout** - dataLayer



「 e コマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ: https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(7) begin_checkout - HTMLソースとGTMのトリガー



<a <mark>class="begin_checkout"</mark> onclick="onCheckout()" href="purchase.html">チェックアウトプロセスを開始 する。

× begin_checkout 🗅		
	トリガーの設定	
	トリガーのタイプ	
	クリック・リンクのみ トリガーのタイプは、	•
	□ タグの配信を待つ 愈 「クリック – リンクのみ」を □ タグの配信を待つ 愈 使用しています。	
	○ すべてのリンククリック ○ 一部のリンククリック	
	C すべてのリンククリック ● 一部のリンククリック イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します Click Classes	+

(7) begin_checkout -GTMのタグ

× begin_checkout 🗅	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングプラットフォーム
	設定タグ ⑦
	イベント名 ②
	begin_checkout
	▼ イベントパラメータ
	items @ {{ecommerce.items}}
	行を追加
	> ユーザープロパティ
	> 詳細設定
	トリガー
	配信トリガー
	begin_checkout リンクのみ

(8) purchase ※「purchase」は冒頭で取り上げましたが、購入の 流れに従って、再び取り上げています。

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/purchase.html

(8) **purchase** – dataLayer



「eコマース(GA4)デベロッパーガイド」(公式ヘルプ: https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(8) purchase - GTMトリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× purchase 🗖	
	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	● カスタムイベント
	イベント名 purchase 正規表現一致を使用
	このトリガーの発生場所
	このトリガーへの参照
	purchase タウ

a × purchase 🗖	a × purchase									
	タグの設定									
	タグの種類 Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングプラットフォーム									
	設定 ga イベ pu	ゆグ ③ a4-quick.and-aaa.com マ ント名 ③ urchase								
	~	イベント パラメータ パラメータ名		値						
イベント名:purchase		transaction_id		{{ecommerce.transaction_id}}		Θ				
用に作成したデータレ		affiliation		{{ecommerce.affiliation}}		Θ				
イヤー変数で、パラ		value		{{ecommerce.value}}		Θ				
メータを追加する(前		tax		{{ecommerce.tax}}		Θ				
出)。		shipping		{{ecommerce.shipping}}		Θ				
		currency		{{ecommerce.currency}}		Θ				
		coupon		{{ecommerce.coupon}}		Θ				
		items		{{ecommerce.items}}		Θ				
	-	行友追加								

(9) refund

実際にアップしてあるテスト用ファイル:

https://ga4-quick.and-aaa.com/ec_test/refund.html
(9) <mark>refund</mark> – dataLayer

window.dataLayer = window.dataLayer || [];

// To refund an entire transaction, provide the transaction
ID.

// This example assumes the details of the completed refund are

// available when the page loads:

dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object.

dataLayer.push({

event: "<mark>refund</mark>",

ecommerce: {

transaction_id: "T12345" // Transaction ID. Required for purchases and refunds.

} });

> <mark>上記のDataLayerは「払い戻し完了ページ」に表示されるこ</mark> とを想定しています。

ー部払い戻し(例えば、3点購入したうちの、1点のみを返品)を測定するには、払い戻し対象の ID と数量を含む items のリストを追加します。(次ページ)



データレイヤーに適切な値 が出力されるようにするに は、システム開発が必要で す。

「 e コマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ: https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja)

(9) refund – dataLayer

});

(前ページの続き)一部払い戻しを測定するには、払い戻し対象の ID と数量を含む items のリストを追加します。

window.dataLayer = window.dataLayer || []; // To measure a partial refund, provide an array of productFieldObjects and // specify the ID and quantity of each product to be returned. This example // assumes the partial refund details are known at the time the page loads: dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object. dataLayer.push({ event: "refund", ecommerce: { transaction id: "T12345", // Transaction ID. items: [{ item name: "Donut Friday Scented T-Shirt", item id: "67890", // ID is required. price: 33.75, item brand: "Google", item category: "Apparel", item category2: "Mens", item category3: "Shirts", item category4: "Tshirts", item variant: "Black", item list name: "Search Results", // If associated with a list す。 selection. item list id: "SR123", // If associated with a list selection. index: 1, // If associated with a list selection. quantity: 1 // Quantity is required. }] 上記のDataLayerは「払い戻し完了ページ」に 表示されることを想定しています。



「 e コマース(GA4)デベロッパー ガイド」(公式ヘルプ: <u>https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja</u>)

(9) refund - GTMのトリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× refund 🗅	
	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	・ カスタムイベント
	イベント名
	refund 正規表現一致を使用
	このトリガーの発生場所
	このトリガーへの参照 refund
	✓ 9 ¹

(9)<mark>refund</mark> - GTMのタグ

× refund	
-	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
	設定タグ ⑦
	ga4-quick.and-aaa.com ・ イベント名 ②
	refund
	✓ イベントパラメータ
	パラメータ名 値 items 単 {{ecommerce.items}} 単 〇
	行を追加
	> ユーザープロパティ
	➤ 詳細設定
	トリガー
	配信トリガー
	efund カスタムイベント

テキストはここまでとなります。